

◆司会

それでは、ただ今から市長定例記者会見を始めさせていただきます。市長、よろしく願いいたします。

◆市長

お願いします。本日の話題は1件、医療提供体制の逼迫への対策とお願いであります。皆さんご承知の通り、新型コロナウイルス感染者の患者が増加しているという中で、医療提供体制が目下、大変逼迫しております。昨日、静岡県内の医療提供体制の逼迫状況を、これ以上悪化させないという観点から、県が、静岡県医療逼迫警報をB A. 5対策強化宣言の中に位置付けられました。今日の会見は、それを踏まえて、静岡市における対策と市民の皆さんへの改めてのお願いをお伝えしたいと思います。

それでは、スライド1をご覧ください。少々お待ちください。これですね。このグラフは、6月1日から昨日までの、静岡市の新規感染者数の推移です。先週8月2日に、過去最多の1,945人が報告されました。その後も高止まりが続いています。一方、静岡県中部地域のコロナ病床の占有率は、8月9日現在で90.9%となっています。これも過去最多です。この状況で私どもは、逼迫状況を自分の目で確かめるという意味でも、清水病院を視察してきました。治療や看護に尽力している医療従事者の皆さんが、緊張して現場に当たっているということを目の当たりにしました。また、看護師さんや皆さんから、いろいろご意見をいただきました。濃厚接触者も多くなっているということでもあります。このままでは、この体制、維持できないなという危機感を持っております。

スライド2をお願いします。それを踏まえて、対策として2本、柱を立てました。一つ目は、清水病院におけるコロナ対応病床の増床です。この増床に当たっては、医療従事者の確保等の調整が必要です。現在、早急に準備を進めています。また、これに先立ち、既に自主的に病床を増やしていただいた医療機関もあり、早速対応していただき、お礼を申し上げます。そして、二つ目は、お盆期間中の検査・診療体制の強化です。通常、お盆の時期というのは、皆さんお休みを取りますので、医療機関も例外ではないわけですね。しかし、開いている医療機関が少なくなると、特定の医療機関に受診が集中されることが想定されます。そこで、市の医師会、あるいは、各医療機関にご協力をお願いいたしました。そうしたところ、医師会、福地会長をはじめ、皆様方が大変対応していただきまして、8月12日金曜日から16日の火曜の期間に、発熱外来として29カ所の医療機関に

ご協力を得られることになりました。医師会および医療機関の皆さんの早速のご協力に、感謝申し上げます。

次のスライド、お願いします。ここからは、専門的な知見も交えますので、田中保健所長に譲りたいと思いますけれども、医療機関の適正利用について、お願いいたします。

◆保健所長

保健所長の田中でございます。先日より、本市の公式LINEでも呼び掛けておりますが、この逼迫している医療提供体制を正常化させるため、これに関しましては、やはり市民の方、一人ひとりのご協力が必ず必要となってまいりますので、適正受診ということで、県のほうも呼び掛けされておりますが、具体的に私のほうから5つのお願いということで、させていただきたいと思います。

まず第1に、こちら、8月4日に後藤厚生労働大臣からの呼び掛け、また、国からの通知もあります、「症状が軽い」「65歳未満」「基礎疾患なし」「妊娠していない」、このいずれにも該当するときは、本当にこういうことをお願いするのは心苦しいんですけれども、検査や薬をもらうために慌てて受診することを控え、医療機関を受診する必要性の高い人が速やかに利用できるように、ご協力をお願いしたいと思います。

また、2番目といたしまして、医療機関の利用につきましては、日中の時間帯の受診を心掛けていただきたいと思います。医療機関のほう、やはり患者さんであるとか、体調の悪い人が受診するという状況なので、極めて感染リスクが高い状況の中で、医療関係者、医師、看護師等の感染事例が相次いでおります。本当に病院においては、1割近い職員が出勤できないという状況の医療機関もございますので、手薄な時間帯を、夜間そうなのですが、極力避けていただきたいと思います。ということで、よろしくお願いします。また、やはり救急が逼迫している状況ですので、今、救急の患者さんになってしまうと、速やかに医療が受けられないという状況も懸念されておりますので、うっかり事故といいますが、交通事故、水難事故もそうなんですけれども、注意していれば防げる事故、これは、好きで救急患者さんになる方はいないというふうには、言われるのですが、特にこの時期に関しては注意して、救急患者にならないように、防げる事故は防いでいただきたいと思います。注意をお願いしたいと思います。

3番目といたしまして、医療機関のほうにいろいろと問い合わせが来ると、その中には、医療機関を受診中の患者さんから、医療についての説明というのがあるということなのですが、これは当然、結構なんですけれども、例えば、コロナに関する一般的な質問を、病院のほうに聞かれることがあるということで、こちらのほうにつきましては、ぜひ保健所のホームページであるとか、そういったとこ

ろに私ども、よくある質問などのコーナーも設けておりますので、医療機関にそういった一般論としての説明を求めるようなことに関しては、ぜひお控えをいただきたいと思います。

4番目といたしまして、単に陰性である、陽性であるという、いわゆる検査受診をされる方がいらっしゃるということで、これ、会社のほうに対しましては、厚生労働省のほうから、現時点においては、陽性証明、陰性証明、求めることは避けてくれとお願いされているということで聞いておりますが、やはり、そういった単なる検査受診については、お控えいただきたいと思います。

5番目といたしまして、入院期間中に医師から、「もう酸素投与の必要がありません」ということで、退院をお願いされることがあります。これに関しましても、県からの注意の中にもありましたが、現在、入院をいただいている方は、酸素の必要な呼吸不全症状のある方にとにかく絞っていくということで、入院の方をできるようにということで調整しております。従いまして、医師から「もう酸素の投与が必要ないので」ということで退院をお願いされた場合は、速やかに、次にその病床を必要とされている患者さんにお譲りいただきますように、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

併せて、暑い日が続いておりますので、先ほどの救急患者にならないということともリンクするのですが、熱中症に注意していただくということが肝要かと思えます。引き続き、基本的な感染防止対策をお願いするとともに、できるだけ速やかにワクチン接種のほうをご検討いただきますように、重ねてのお願いしたいと思います。私からは以上です。

◆市長

田中所長、ありがとうございます。市民の皆さんには、適切な受診をしていただきますように、重ねてお願い申し上げます。私どもからは以上です。

◆司会

それでは、ただ今の発表につきまして、皆様からのご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。読売新聞さん、お願いいたします。

◆読売新聞

読売新聞社です。今の発熱外来の29カ所というのは、いずれも開業医になるのでしょうか。公的機関も含まれるのでしょうか。すみません。いずれも民間の開業医なんですかね、29カ所の発熱外来、お盆期間中に協力する29カ所というのは民間ですか、いずれも。

◆保健所長

私のほうから、細かいことなので説明させていただきます。医師会のほうにご協力いただきまして、クリニックを中心に調整をしていただいた結果、29の医療機関、今おっしゃられたような民間のクリニックのほうを、発熱専用ということでお盆期間中、いくつか開けていただくということです。

◆読売新聞

これは、依頼しなかったら、どれぐらいだったんですかね。もしそういう要求をしなかったら、開いている機関…

◆静岡市保健所長

専用外来として開いているところは、ないと思います。いわゆる発熱は受けるということはあっても、例えば、一般医療で受けるところと発熱のところを、1日の中で分けて開けていらっしゃるところは、いくつかあるというふうに聞いておりますけれど、発熱だけの患者さんを集中的に…

◆読売新聞

発熱専用外来？

◆保健所長

ですから、いわゆる一般医療と混ぜますと、例えば、防護服に着替えたりということで、結構不効率なのですが、発熱専用で、効率的に患者を受け入れていただくということで、今回、手を挙げていただいたところでは、

◆読売新聞

これは保健所に問い合わせないと、どこがやっているというのは分からないということですか。

◆保健所長

一応、ホームページのほうに、今日、掲示させていただいています。

◆読売新聞

ホームページに書いてある？

◆保健所長

基本的には、予約をして行っていただくということが、まず大前提になりますの

で、その連絡先も含めて、ホームページのほうにアップしてあります。

◆読売新聞

これは、特に保健所の電話相談窓口に電話しなくてもいいということですね。

◆保健所長

そちらにかけていただいても調整しますが、ただ、非常に数、限られていますので、もしかかりつけの先生がいらっしゃって、その日開いているということであれば、まず、かかりつけの先生のほうに電話していただいて、そのかかりつけの先生が休診している、あるいは対応できないという場合に、ご利用いただくと、非常に限られた医療機関、お盆期間中の緊急的な対策として確保しましたので、こちらも適正に利用していただきたいと思います。

◆読売新聞

ありがとうございました。

◆司会

その他、いかがでしょうか。第一テレビさん、お願いいたします。

◆静岡第一テレビ

静岡第一テレビです。今の関連なんですけれど、静岡市保健所のホームページに確認すると、29の医療機関がどこか分かるという認識でよろしいですかね。

◆保健所長

市のホームページと保健所のホームページ見れるようにしてありますので、また、資料のほう準備しておりますので、後ほどお渡ししたいと思います。

◆静岡第一テレビ

ありがとうございます。あと、市長から、もし一言、これからお盆期間入りますけれども、こういうふうに改めて発熱外来のほうですね。この対策をした意図と、お盆期間中の市民への行動の呼び掛けを聞かせていただけますでしょうか。

◆市長

本当に医療現場が逼迫をすると、大変、従事者の方々の負担が大きくなります。ですので、その点で、安心感とともに発熱外来という形で、呼び掛けをさせていただいております。受け皿は作っているつもりですので、ぜひ市民の皆さんに

は、適切な受診をお願いしたいと思います。

◆静岡第一テレビ

お盆期間中、いろんな方が多分、行動を、いろいろ移動すると思いますけれども、その辺、市民へのメッセージ等ありますでしょうか。

◆市長

とはいえ、感染対策をきちっとしていただければ、やはり夏休み、子どもたちに思い出を作ってもらいたいし、さまざまな予定もあると思いますので、気を付けながら夏休みを楽しんでいただきたいなということも、呼び掛けさせていただきます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、幹事社質問に移りたいと思います。毎日新聞さん、よろしくお願いいたします。

◆毎日新聞

今月の幹事社の毎日新聞です。よろしくお願いいたします。大きく2点あるんですけど、まず1点目。昨今話題になっている、政治家と旧統一教会との関係について伺いたいと思います。先月、安倍晋三元首相の銃撃事件をきっかけに、政治家と旧統一教会との関係がクローズアップされています。国会議員だけではなく、地方議員であったり、自治体の首長の方でも、旧統一教会と関係があったという事例が明らかになる例も見られます。田辺市長にまず1点目伺いたいのは、これまでの市長選を含めた選挙活動で、旧統一教会、もしくは、その関連団体から、例えば選挙活動で、何らかの支援を受けたということは、ございますでしょうか。

◆市長

分かりました。政治家として、あるいは選挙活動も含めて、私が支援を受けたということは、この前申し上げた通り、全くありません。ただし、最近の報道がかなり関心を持たれておりますので、念のため、私の公務のこれまでのスケジュールを点検しました。その結果、昨年7月に、自転車イベントとしてのピースロードのご関係の方の表敬訪問を受けていたということが分かりました。

◆毎日新聞

すいません。詳細は、また後で伺うとして、重なるんですけども、その他関連

団体のイベントに、例えば、メッセージを送られたりであるとか、そのようなことは確認されたでしょうか。

◆市長

ありません。確認しました。

◆毎日新聞

これは一般的な話になるんですけれども、政治家と旧統一教会との関係は、現在、見直すべきだというような意見も相次いでいますが、田辺市長ご自身は、政治家と旧統一教会との関係について、どうあるべきかという、その見解をお聞かせ願えればと思います。

◆市長

私個人としては、見直すべきだと思いますね。これだけ靈感商法等の苦しんでいる方がたくさんいるという現状に鑑みまして見直すべきだと思います。ただ、政治家、いろんな考え方があるでしょうから、それは、それぞれの個々の判断だと思います。

◆毎日新聞

分かりました。いったん、旧統一教会については以上にさせていただきます。大きく2点目なんですけれども、リニアの関連で、先月、JR東海が、県民からリニアの静岡工区の問題について意見を広く集める、というパンフレットを配布、始めました。田代ダムからの取水を抑制する案が実現可能な案と書かれている点などを踏まえて、県の関係者からは、誤解を招くというような懸念の声も上がっています。一方で、一部の大井川流域の自治体からは、県民から意見を集めるという姿勢については、評価したいというような声も聞かれています。田辺市長ご自身は、そのパンフレットの内容、もしくはJR東海の姿勢については、どういうふうに見受け止めておりますか。

◆市長

パンフレット、私も拝見しています。その内容については、さまざまな意見があろうかと思っています。ただし、大井川の水資源利用への影響の回避、低減に向けてJR東海が検討しているということ、そして、その内容について、市民、住民の皆さんの意見や質問を広く募るといった目的だったんだろうな、というふうには理解しています。水問題を巡っては、これまで国土交通省の有識者会議等、議論がされておるのは、ご承知の通りだろうと思います。直接、住民の皆さんの

意見を聞いてみよう、そのためにパンフレットを作ろうということは、十分理解をしますし、私は評価をしたいというふうに思っています。そして、JR東海がいただいた住民の声が、今後のJR東海の取り組みに活かされることを願っています。いずれにしても、県の専門部会での議論が続いていますので、これで議論が深まっていく、そして、合意点が見つかっていくということを期待しています。

◆毎日新聞

幹事社質問は以上です。ありがとうございます。

◆司会

それでは、まずは幹事社質問に関連したご質問を、皆さまからお受けしたいと思います。大きく2問いただきましたので、もし1問目、旧統一教会の関係でご質問ある方は、まずは、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。第一テレビさん、お願いします。

◆静岡第一テレビ

すいません。第一テレビです。お世話になっています。ピースロードの関係者の表敬訪問を受けたのは、去年の7月の何日かどうか、まず、分かるかというのが一つと、あと、この1回だけだったのでしょうか、確認をお願いします。

◆市長

1回だけです。日取りまでは私、承知していませんので、お答えをできれば、お願いします。

◆秘書課長

秘書課の岡本でございます。お世話になります。ピースロード様の表敬については、去年の7月16日に表敬を受けております。以上です。

◆静岡第一テレビ

ありがとうございます。あと、当時のことなので、1年前のことなので、ご記憶の限りなのですが、当時、表敬訪問を受けて、どういう会話をしたとか、そのときの関係団体と、どういう認識で会われて、どんなお話をしたのかというところを可能な限りお聞かせいただけますでしょうか。

◆市長

記者ご承知の通り、静岡市は自転車の活用ということをし、とても強く後押しをしています。そして、サイクリストの聖地をつくろうと、先日、トライアルパーク蒲原も整備したわけですね。その一環の中で、自転車ですっと静岡県内を、東から西だったかな、横断しているという中で、静岡市に来て、とにかく静岡市は自転車を活用している都市なんですよ、という私たちの施策についてアピールをさせていただいた。それについて賛同いただいた。そんなやりとりがあったと記憶しています。

◆静岡第一テレビ

この間、県議さんでも、実行委員長を務められたという報道で、事実があったと思うんですけど、どうなんですかね。旧統一教会系の団体の表敬訪問を受けるというのは、適切だったんでしょうか。

◆市長

私自身は、そういうバックがあるってということは、全く承知していませんでした。自転車のアピールというような、我々の交通政策の中で、公務としてスケジュールに入れてもらったんだらうというふうに承知しています。

◆静岡第一テレビ

ちなみに今後は、もしそういう依頼があった場合は、どうされる？

◆市長

調べなきゃいけないですよ、そういう団体かどうか。全くそういう印象は、私、なかったですからね、当時は。すごく熱心に自転車こぎながら県内各地を回っているんだな、頑張っているという気持ちで、そういうバックがあるなんていうのは、全く存じ上げませんでした。だから、それをチェックするというのは、なかなか難しいことなんですよ。秘書課も十分注意を払いながら、公務のスケジュールは入れてくれているというふうに思いますけれども、なかなか難しいですよ。

◆静岡第一テレビ

これからも、可能な限りでチェックしながらやってくっていく…

◆市長

そうですね。今回のことを一つの教訓としてということですね。ただ、そうする

と、市民と市長との距離が遠くなってしまふ。これもまた、いけないことだと
思いますので、本当に、その辺は難しいなと思います。

◆静岡第一テレビ

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。1問目の。毎日新聞さん、お願いします。

◆毎日新聞

度々すいません。毎日新聞です。確認をさせていただきたいんですけれども、
ピースロードって、日本全国を自転車で回るといふようなイベント、私も最近、
詳しく知ったんですけれども、去年の7月16日というの、そのイベントの
開催期間中で、静岡県を回っていた最中ということでしょうか。

◆市長

私の記憶では、そうだけれども、どうでしょう。

◆秘書課

そのように伺っております。

◆毎日新聞

分かりました。あと、その当時は、田辺市長は、表敬訪問に訪れた人物が
旧統一教会の関連団体の人であるということは、全く分からなかったといふ
ことですか。

◆市長

そうです。

◆毎日新聞

分かりました。

◆司会

朝日新聞さん、お願いいたします。

◆朝日新聞

朝日新聞です。今のことに関連してなんですが、ピースロードの一行というのは、何人来たのかと、あと、どういうレベルの人だったのか、もし分かれば、教えていただきたいんですけど。

◆市長

いかがですか。後で答えます。私、承知してないですよ。7、8人いたかな。

◆秘書課

申し訳ございません。人数ですとか、どんな方がお見えになったか、あまり印象が、すいません、記録もないものですから。

◆市長

どういうレベルというのは、旧統一教会とどれだけ近い人かという意味？

◆朝日新聞

(マイク通していないため聞き取れず)

◆市長

いや、そんなことは全然…

◆朝日新聞

事前にお会いするときに、どういう身分の人が、どういうふうに来るのかというのは、大体、秘書課を通して調べていらっしゃるんじゃないですか。

◆市長

どうですか。

◆秘書課

特に記録を取っていませんので、今、お答えできないと思います。

◆市長

こういう社会問題になったから、無防備だったということは、今後の教訓にしていきたいと思っています。ただ、そのときは秘書課も、善意で、自転車で頑張っている一行を、静岡市だけではないと思うんですね、熱海市から西のほうに、ずっと行かれていたということで、表敬を受けたと。それ以上でも、それ

以下でもないんですよ。記者の皆さんは、そのとき、そういうことがあったって、そういうふうに。すごく難しいと思います、そのチェックというのはね。

◆朝日新聞

お会いした場所は市長室でお会いする？

◆市長

応接室。

◆朝日新聞

応接。

◆市長

市長室ではなかったです。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。続きまして、幹事社質問のリニアの関係のご質問に関連する質問がある方は、お願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、その他のご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。先にSBSさん、お願いいたします。

◆SBS

すいません。SBSです。先ほどの幹事社質問と別なんですけれど、リニアの関係についてなんですけど、建設予定地の井川地区で、JRの負担で合意した県道のトンネル整備について、川勝知事が昨日の定例会見で、発生する土の置き場が準備されていないということで、静岡市を批判されたんですけれども、そのことについて、市長のご意見をお聞かせ願えますでしょうか。

◆市長

発生土置き場の件については、県の有識者会議で議論されていますよね。私たちは、その議論の中で適切にやってきたわけでありますので、今後も粛々とやっていきたいというふうに思っています。

◆SBS

準備されていないということについて、批判されたことについては、いかがですか。

◆市長

知事は、県道トンネル工事について、静岡市に問題があると発言をされたんですね。平成30年6月に基本合意書を締結しました。それで、JR東海がトンネルの工事を進めるようになったわけですね。事実をもう一度、確認かたがた述べますと、工事の状況ですけれども、合意書の締結した後、JR東海がトンネルの調査、設計、必要な法令手続きなどを進め、令和3年12月末に南側の準備工事に着手しています。令和3年11月にJR東海より、令和5年度内のトンネル掘削開始を目標にしているという報告がありました。

そして、ご指摘の工事で発生する残土処理については、処理地の確保を含め、JR東海の責任において行うこととなっていますが、静岡市のトンネル前後区間の道路改良工事への活用など、相互協力の下で進めていきます。今後も、トンネル掘削の進捗に影響が出ないように、JR東海と地域の皆さんと共に連携をしながら、そして、丁寧な説明をしながら、早期の共用開始を目指してまいりたい。そんなふうに思っています。

◆司会

その他、いかがでしょうか。朝日新聞さん、お願いいたします。

◆朝日新聞

安倍首相銃撃による死亡事件に関連して、国葬が9月27日に開かれるということが、閣議で正式決定いたしました。前回もお尋ねしたのですが、市の教育委員会としての対応ということになるかもしれませんけれども、当日の半旗の掲揚や、あるいは半ドンといった措置を取るか、取らないのか。そうした方向性について、まず、お伺いしたい。決まっていなければ、いつごろをめどに決めるのか、お聞かせください。

◆市長

それは個々の教育委員会、教育長の判断だというふうに思いますけれども、現時点では、静岡市教育委員会は、そんなようなことをするという報告は、もらっていません。

◆朝日新聞

当日は、平日だということになりますと、通常通りの授業を行うという方向性が強いということでしょうか。

◆市長

そういうことです。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、本日の定例記者会見は以上とさせていただきます。次回は、8月29日月曜日の11時からの予定となります。本日は、ありがとうございました。